

6月
定例会

のざき正志・定例会一般質問より

質問

子供の難聴対策について、補聴器の購入費助成は重要な制度である。今後の対応はどう考えるか。

答弁

平成26年で7件、2360万円の被害額。27年度は、5月末で、10件。4379万円の被害額である。前年同期比8件、3269万円の増となっている。

答弁

平成24年6月に制度を創設し、今まで5人に助成している。25年9月に助成額を引き上げている。対象となる聴力レベルも引き下げ、医師の必要としたときは、対象としている。

質問

消費者トラブルが相次いでいる。女性や高齢者の相談も増えている。三条市の現状と相談体制はどうか。

質問

学校における授業に当たって支援策はどのような対応しているのか。

答弁

市民何でも相談室で対応している。専任の相談員二人での体制で対応している。毎月2回弁護士無料相談で専門的なことにも対応している。相談件数は、平成26年で186件である。

答弁

三条小学校に指導教室を設置している。通称きこえの教室で専門性を有した教諭一人が週1回、対応している。個によって異なる中、個に合わせた指導が中心である。

質問

食料・農業・農村基本計画について、新指標の食料自給力、自給率、担い手、育成について見解はどうか。

質問

消費者行政について、特殊詐欺が三条市内でも、先ごろ高齢者二人が被害に遭い、三条署で捜査している。三条市内の特殊詐欺の実態はどうか。
(右上の答弁に続く)

答弁

自給率の目標値については、平成22年は50%に設定。検証では39%で達成しなかった。国では、過大な消費量を見積もりを原因に上げている。実現可能な設定で45%の目標値である。担い手の確保、育成は重要である。



一般質問で質問席より



FM補聴器の送信機



ネパール緊急街頭募金

「庶民の代表！行動する頼れる男！ 皆様からの声をカタチに変えて行きます。」
気軽にご相談下さい。 三条市議会議員 のざき正志 携帯 080-9804-9371
ホームページはこちら <http://www.komei.or.jp/km/sanjo-nozaki-masashi/>